

掲示板

東北学院大学地域プロジェクト講座

東北学院大学、ベガルタ仙台、いちのせき市民活動センター、市の4者が連携して、地域の元気を高めるためのセミナーを7回にわたり開催します。

- ◆日時…3月21日④14:00～16:00
- ◆会場…川崎公民館
- ◆内容(初回)…▷学生による一関市調査報告▷シンポジウム「一関の地域課題と可能性」
- ◆内容(2回目以降)…②「駅周辺整備に伴うワークショップの結果報告」4月12日④14:00～16:00、一関文化センター中ホール③「儀礼と文化力講座・儀礼と一関の餅文化について」4月18日④14:00～16:00、花夢パル④「地域の健康力講座・スポーツクラブから学ぶ地域づくりと人材育成(ベガルタ仙台)」5月16日④13:30～16:00、一関文化センター体育館⑤「地域福祉力講座・障がいを持った人たちと大町を探検しよう」5月23日④13:00～15:00、POINT 1(大町)⑥「地域の商売力講座・地域商店街の魅力と課題」6月5日④19:00～21:00、POINT 1(大町)⑦「まとめ・地域発見力講座・宝と課題の発見」6月25日④18:30～20:30、市役所会議室棟第3会議室
- ◆申し込み…開催日1週間前まで下記に
- ◎問い合わせ先…いちのせき市民活動センター ☎26-6400

こども教室発表会

- みんなの花展in東山として開催します。
- ◆日時…3月14日④10:00～18:00、15日④10:00～16:00
 - ◆会場…東山総合体育館
 - ◎問い合わせ先…(株)小原流南岩手支部 東山地区・佐々木 ☎47-3980

大正時代の蒸気ポンプを披露

大正9年から昭和23年まで活躍した蒸気消防ポンプの放水を披露します。実際に放水できる蒸気ポンプは全国でもこの1台といわれている貴重なものです。



- ◆開催日…3月8日④
- ◆時間…摺沢保育園パレード13:00、蒸気ポンプ放水披露14:00
- ◆場所…防火パレード:街道下～八幡前～クボホームセンター、蒸気ポンプ:クボホームセンター駐車場
- ◎問い合わせ先…市消防団大東地域第3分団・千葉 ☎75-3177

「ヒカルの碁」受講生募集

- ◆開校日…4月4日④13:00
- ◆練習日…毎週土曜13:00～15:00
- ◆会場…日本棋院一関支部
- ◆対象…5歳程度から高校生
- ◆受講料…月額1000円
- ◆申し込み…随時受け付け
- ◎問い合わせ先…日本棋院一関支部 ☎23-0030

能楽・観世流 謡と仕舞の会員募集

- 能を大成した観阿弥・世阿弥を流祖とする観世流を学ぶ「一謡会」です。大きな声で謡い、姿勢を正して舞うことを能楽師師範の指導で楽しく学びます。一関公民館和室で原則として土曜日に開講しています。初心者などなたでも随時入会を受け付けています。
- ◎問い合わせ先…一謡会・及川 ☎21-5387 または佐藤 ☎25-3343

源氏物語を学びませんか

- 「源氏物語」を読み学ぶ会で、ともに学ぶ仲間を募集しています。性別は問いません。
- ◆日時…毎月第1・第4月曜13:30～15:00
 - ◆会場…一関公民館
 - ◆講師…吉田英子さん
 - ◆月謝…2000円(部員が増えれば減額)
 - ◎問い合わせ先…佐藤 ☎26-2784

合唱団「コールシャンテ」会員募集

- 誕生から6年目を迎えた「コールシャンテ」は新会員を募集しています。
- ◆練習日…毎週金曜10:00～12:00
 - ◆会場…女性センター
 - ◆対象…市内に居住または勤務する女性
 - ◆講師…横地裕子さん
 - ◎問い合わせ先…同会・畠山 ☎21-0501 または女性センター ☎21-2145

一関市青少年発明クラブ会員募集

21年度の会員を募集します。教材、資料準備、指導など、指導員が親切に対応します。



- ◆活動日…毎月2回、土曜か日曜
- ◆活動場所…一関公民館真柴分館またはぶなの森まつるべ館、ポイント1など
- ◆会費…教材費および保険代として年会費3000円
- ◆募集…定員になり次第締め切り
- ◎問い合わせ先…教育委員会生涯学習文化課 ☎25-6594 または同会・千葉 ☎26-4928



(裏)



裏

(表)

主に稲わらを用い、その茎を乾燥して編み込んだものをわら細工といいます。わらは、手に入りやすく加工がしやすいのでよく用いられますが、より丈夫に使いやすくするため、家の近くの野や山に自生する草や木、つるの皮が織り込まれました。時には見た目を美しくするため、刺しゅうを施したりもしました。稲わらばかりでなく、近くに自生する植物の素材を集め、自らの手で編んでいくところから、これらは「編み組みもの」と呼ばれています。

この編み組みものの中で、田畑の仕事や山仕事の際、雨や雪、日照を防ぐために身につける外套(からこ)の役目をするものに蓑(かさ)があります。一関近辺では、体の脇から包み込むように着るものを「みの」と呼び、肩から背中にかけて下がり、体を包み込まないものは「けら」と呼ぶことが多いようです。

素材は稲わらのほかに、スゲなどの草やシナノキ(マダ)、ウリハダカエデ、オニグルミなどの樹皮や、ヤマブドウなどのつるも部分的に編み込み、強度を持たせます。水をはじくにはシナノキよりもウリハダカエデの方が良いともいいます。いずれにせよ、地域に自生する草木を利用しました。

写真の蓑の表側は、所々褐色の樹皮を用い、襟には黒の糸で補強をしていますが、これが見た目にはおもしろい感じがします。また、裏側には細く編んだ縄を編み目状にしたものを裏地とすることで、通気性を良くしています。使う人の身になって細かく配慮された造りには、作製者の優しさと思いが強く感じられ、それが見た目の美しさとなって表れています。

博物館

Ichinoseki City Museum

だより

生活に根ざした編み組みもの
蓑

20

一関市博物館案内 ☎29-3180 ホームページhttp://www.museum.city.ichinoseki.iwate.jp



花巻人形 鯛くわえ猫

【展示解説会】
学芸員が展示資料を解説します。
■日時：3月8日④14時～15時※
通常入館料で観覧いただけます。

柳聖悦の民芸運動に共鳴し、岩手県南地方を中心に多彩な民芸資料を収集した菅原清蔵のコレクションを、一括寄贈を機に公開します。柳や棟方志功などの交流も紹介されます。上記の蓑など、生活用品も含まれています。
■会期：3月15日④まで



当たり箱(筆記用具を入れる箱)

テーマ展 民芸の美
菅原清蔵コレクション②

ぶなの雫 二十



市長 浅井 忠兵衛

児童・生徒・学生顕彰式で表彰したスポーツや文化活動で優れた成績を修めた児童・生徒・学生、大東大原水かけ祭り、加勢人や神輿かづきなどで祭りを盛り上げた子らなど、本市の頼もしい子どもたちの姿に触れる機会がありました。

現代社会のさまざまな課題の中で、とりわけ大きいのが少子化問題であり、先進諸国はこの国でもこの傾向にあります。特に日本は急激に進んでおり、地方にとっては一層深刻な問題です。地域の発展は子育て、そして教育がいかにしっかりしているかにかかっています。この地に生まれてきてくれた子どもたちを、行政や家庭だけでなく、地域社会全体が責任を持って、大切に育てていくことが何より大切です。

市の財政も厳しい中ではありますが、新年度はこれまで以上に子育て支援と教育に力を入れ、子どもたちの明るい元気な声がここから聞こえる、将来に希望の持てる地域づくりを進めてまいります。